

## 執筆投稿規定

### 【論文内容】

1. 学術研究論文
2. 教育関係論文
3. 症例報告論文
4. 行政及び士会運営に関する論評等

### 【投稿者の資格】

日本理学療法士協会・東京都理学療法士会会員に限る。但し会長が依頼した場合この限りではない。

### 【投稿原稿の条件】

投稿原稿は他誌に発表、または投稿中の原稿でないこと。本規定に従って作成すること。

### 【著作権】

本誌に搭載された論文の著作権は東京都理学療法士会に属する。

### 【研究倫理】

ヘルシンキ宣言に基づき対象者の保護には十分留意し、説明と同意などの倫理的な配慮に関する記述を必ず行うこと。

### 【原稿の採択】

原稿の採択は複数の査読者の意見を参考に編集委員会において決定する。査読の結果、編集方針に従って原稿の修正を求めることがある。また、必要に応じて編集委員会の責任において字句の訂正を行うことがある。

### 【執筆規定】

1. 論文構成
  - 1) 標題 (表題) : 内容を具体的かつ的確に表し、できるだけ簡潔に記載する。原則として略語、略称は用いない。
  - 2) キーワード : 標題及び要旨から3個を抽出する。不十分な場合は本文から補充する。
  - 3) 著者名、所属名
  - 4) 要旨 : 「目的」「方法」「結果」「結論」を含めて400字程度で記載する。
  - 5) 本文 : 下記の各部分から成り立っていることを原則とする。
    - ① はじめに (序論、諸言、まえがき等)
    - ② 対象および方法 (症例紹介) : 倫理的配慮を記述すること。
    - ③ 結果

### ④ 考察

### ⑤ 結論 (まとめ)

- ⑥ 文献 : 引用文献のみとして本文の引用順に並べる。本文の該当箇所の右肩に一連番号を付ける。引用文献の著者氏名が3名以上の場合、最初の2名を記載し、他は「・他」あるいは「et al.」とする。雑誌の場合は著者氏名、論文題目、雑誌名、巻、号、頁、西暦年号の順に記載する。単行本の場合は著者氏名、書名、編集者氏名、発行所名、発行地、年次、頁を記載する。

### <表記例>

- ・藤田信子, 榊田康彦・他 : 椅子座位における側方傾斜刺激に対する頸部・体幹・四肢の筋活動—筋電図学的分析. 理学療法学, 17: 27-30, 1990.
- ・Sepic, S.B, Murray, M.P.et al.: Strength and Range of motion in the Ankle in Two Age Groups of Men and Women. Am. J. Phys. Med, 65: 75-84, 1986.
- ・真島英信, 猪飼道夫 : 生体の運動機能とその制御. 杏林書院, 東京, 1972, pp185-193.
- ・Junda, V.: Muscle Function Testing Butterworths, London, 1983, pp224-227.

### 6) 図表

原寸でそのまま掲載する (作図や縮小はしない)。図の番号および標題は図の下に、表の場合は表の上につける。本文と図表は分けて作成し、表・図・写真の挿入位置を本文の右欄外に指示する。

### 2. 原稿規定分量

原則として400字詰め原稿用紙20枚・8000字以内とする。

### 3. 文字表記

原則として現代かな使い、数字は算用数字、単位は国際単位系 (SI単位) を用いる。

### 4. 略語

略語は初出時にフルスペルあるいは和訳も記載する。

### 5. 表紙頁、著者頁

論文には表紙頁と著者頁をつける。表紙には標題、キーワード (3個)、本文ページ数、図表枚数、原稿文字数を記載する。著者頁には著者名、所属名、

責任者連絡先（住所・電話番号・Email アドレス）を記載する。表紙頁、著者頁の後に要旨・本文・図表を改めて記載する。

6. ページ番号・行番号

原稿にはページ番号（最下部中央）と本文右（または左）に5行ごとに行番号を記載する。

**【原稿送付方法および連絡先】**

1) 原稿送付先

原則として投稿原稿一式を1つのファイルにまとめ、電子メールに添付して下記へ送付する。上記が不可能な場合は問い合わせること。

2) 原稿送付先および連絡先

〒162-8666 東京都新宿区河田町 8-1

東京女子医科大学 リハビリテーション部  
岩本卓水

TEL：03-3353-8112 内線：29354

FAX：03-5269-7639

E-mail：iwamoto-t@reha.twmu.ac.jp

（平成23年11月4日 改定）